

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名：一般国道220号 古江バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省九州地方整備局			
起終点：自：鹿児島県鹿屋市白水町 至：鹿児島県垂水市新城	延長：7.5 km				
<b>事業概要</b> 一般国道220号は、宮崎県境から垂水市福山町境に至る82.6kmの路線であり、鹿屋市、垂水市などの主要都市を縦貫している。古江バイパスはこの2市を結ぶ区間であるが、通称「古江坂」と呼ばれる急勾配・急カーブの連続箇所の解消を図り、安全性・円滑性の向上を目的とした、延長7.5kmの2車線道路である。					
H元年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 4年度用地着手			
		H 13年度工事着手			
全体事業費	170億円	事業進捗率	24%	供用済延長	0 km
計画交通量	9,400～10,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/ (事業全体)		総便益 (残事業)/ (事業全体)	
	2.4	167/219億円 (事業費：103/155億円 維持管理費：64/64億円)		532/532億円 (走行時間短縮便益：504/504億円 走行費用減少便益：24/24億円 交通事故減少便益：4/4億円)	
	(残事業)			基準年：平成15年	
	3.2				
<b>事業の効果等</b> ・物流効率化の支援（重要港湾志布志港へのアクセス向上、農水産品流通の利便性向上）他7項目に該当 ・国土・広域ネットワークの構築（生活中心都市間の連絡強化、大型車のすれ違い困難箇所の解消）					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 大隅地域の一体的な開発促進、産業、文化等の飛躍的発展を目指し、鹿屋市をはじめとする2市17町の首長で構成される大隅地区整備促進期成会等より毎年早期整備の要望を受けている。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 国道220号の当該区間は、大隅半島地域と鹿児島市、九州全域を結ぶ産業・日常生活面における基幹ルートの一部となっており、交通量の伸びからみても1.26倍(H11/H2)と重要性を増している。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成14年度までの事業進捗率は約24%であり、平成15年度には27工区花岡地区(0.2km)の着工を予定している。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 平成19年度までに花岡～新城間の完成を目標に整備を進めており、地元や関係機関との協力体制も確立していることから、円滑な事業執行が可能である。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 車道や路肩、植樹帯など本来標準幅員であった幅員構成を見直し、コスト縮減を図っている。					
対応方針		事業継続			
対応方針決定の理由		以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。